

環境出前授業「多摩川の水の歴史」



11月7日、斉藤代表が久地小学校5・6年生200人へ「多摩川の水の歴史」というテーマで環境出前授業を行いました。そのお礼と感想文が届いているので、抜粋してご紹介します。



せせらぎ館の斉藤さんへ

いろいろ多摩川の事を教えていただいてありがとうございます。

- ① 多摩川がなぜ「死の川」や「あばれ川」とよばれていたのかは全く知らなかったがこの話で知ることができました。
- ② 私は帰ってからお父さん、おかあさんに教えてあげました。
- ③ 多摩川は昔、海の下にあったことやわたし舟があったこと。
- ④ 洗剤で川が汚れてしまって魚がいなくなったがほうりゅうしてもどってきたこと、アユがいる。
- ⑤ びっくりしたのは昔は多摩川で泳ぐことができたことです。おじいちゃんが「昔は川で泳いでいた」と話してくれました。
- ⑥ 現在のきれいな多摩川にする日本の技術はすごいですね。
- ⑦ おばあちゃんが宇奈根のわたし舟で寝ていたとびっくり！
- ⑧ 人間がきたない水を川やニヶ領用水に流していたこと。
- ⑨ 川崎の人は多摩川の水を飲んでいないことにびっくり。



せせらぎ館の屋外では、竹馬、竹ぼっくりで遊び、竹笛づくりの体験コーナー、そして割り箸ゴム鉄砲コーナーでは、大人も子どもの中に入って、紙カップの的を狙って「当たらないな～」と楽しんでいました。女の子が頑張って竹馬に乗れば、支えていたパパが交代して親子で遊んでいました。

せせらぎ館の2階では真剣なまなざしで凧づくりの説明を受けて、凧に自分の好きな絵を描いていました。こどもの中には昨年をもち参し、レベルアップさせた凧づくりに挑戦していました。あいにく風が強くなってきましたが、負けずに凧を揚げていました。そして出来たてのお汁粉を食べて「今年も元気な1年でありますように」。



お正月あそびを楽しもう!

[1月10日]



干支のヒツジのおもちづくり



凧づくりは大人気。今年の絵柄NO.1は妖怪ウオッチ!



竹馬に挑戦!